



学校だより

錦城の詩

平成24年(2012年)

10月23日(第11号)

明石市立錦城中学校

先輩からのバトンを引き継いで、頑張るの巻

校長 荒井 拓

先日、夏の暑い練習に耐え、3年生の先輩から引き継いだチーム力を自信として市総体新人戦が開催されました。文字通り、錦城史に残る好成績を各々が残しました。

野球部。準決勝対野々池中戦で劇的な勝利(延長サヨナラ)を収め、堂々の準優勝。たった12名の戦士たちが大きく見え、先輩譲りの野球にかけける熱い情熱がスタンドで見ている我々にピンピン伝わった胸が熱くなる闘いでした。

剣道部。女子は、私の会場到着が団体戦に間に合わず応援できなくて残念。1年生初心者の多いチーム編成(しかも、5人揃わない)での挑戦でした。これからのチーム。新たな入部者も含め、良い試合経験になったと思います。これから、これから。一方、男子団体の初戦、対魚住東中戦。先鋒が見事な足捌きで、体の大きい相手の間合いを詰め、素晴らしい面での2本勝。ムードよろしく団体戦白星スタート。ひとりひとりの地力があるので、今後、気持ちを作って大きく伸びる予感。

ソフトテニス女子。予選リーグ、対魚住東中戦。相手は市内でも強豪のチーム。ちょっと押され気味の展開になってしまいましたが、1年生の応援態度も良く、気持ちの良い試合運びでした。「あきらめない」強い気持ちは、練習で気持ちや考えの入った球をどれだけ打ち込んだかによりできるのかも。練習時、集中、集中。

男子。先輩の良い雰囲気膨らませる立派なチーム。予選リーグなどは、ある種風格をもった試合運びでした。時間の関係で1試合しか応援できませんでしたが、結果を聞くと、なんと市内優勝！嬉しかったですねえ！紙一重の勝負だったとか。我校にとっては、数十年振りの優勝の二文字。外部からも「錦城すごいな」「ええ、チームやね」とお褒めの言葉。苦しさの結果の喜び。精神的におおきな成長ができたことでしょう。素晴らしい！

バレーボール男子。市内上位入賞常連だった先輩チームからのバトン。多少のプレッシャーもあった中での堂々の準優勝。リズム、流れのスポーツの怖さ。こー一番、決定力を付けて優勝を勝ち取るのも夢じゃない。野球部と同様、たった10名での戦いぶり。一丸という文字が目に見えます。

女子。5名の部員(2年生は1人だけ)。文化部からの選手友情参加を得ての出場。市内NO1の対魚住中戦など予選リーグ2試合。コートの中で必死に頑張る姿。涙ぐみながらもボー

ルに食らいつく気力。勝敗を越えて得たものが大きいと信じています。

東播大会でも錦城旋風吹くの巻

先述の市内大会の結果、な、なんと、野球部・ソフトテニス部男子・バレーボール部男子の3つの部が明石市の代表として東播大会へ出場しました。

野球部。10月13日(土)加東市グリーンヒル球場。対自由ヶ丘中(三木市代表)。錦城のエースの立ち上がりは素晴らしく、速球がビシビシ決まり、0対0ながらも序盤は押し気味に進行。緊迫感の中、中盤に相手打線がしぶとくミート打法で連打。3点を先攻される。しかしながら、5回裏、いささかも落ちない闘争心で、クリーンヒットで1点を返し、1塁側ベンチもスタンドも大いに盛り上がる。2点ビハインドのまま7回最終回。日ごろから鍛え上げられている気力で、2アウト2・3塁と攻め、押せ押せムード。9番バッターがライト方向に快音。「やったー」と1塁側総立ち。ああ！しかし相手のライトが前へよく出て好捕。万事休す。でも、よくやった。

男子ソフトテニス部。10月13日(土)吉川総合運動公園。個人戦。明石の優勝ペア、ベスト5ペアらしく堂々の戦い。ベスト8に1ペアが入り、11月4日(日)の県大会へ。

10月14日(日)団体戦。3ペア同士が戦い、2ペア勝利で勝ち負けが決まる。1回戦。対平岡南中(加古川代表)。2-1で順当勝利。2回戦、松陽中(高砂代表)。1番の山場。相手もよく鍛えられたチーム。リードしても追い付かれる展開。監督の作戦も功を奏して、苦しい中、フルセットを取り劇的勝利。準決勝、河合中(小野代表)は2-0で完勝。いよいよ、決勝戦。対荒井中(高砂代表)。危ない場面も精神力(この大会で一戦毎にたくましくなった)で1-1として、最終ペアもフルセット。優勝を決める7点目をとった時、錦城サイドは歓喜の嵐。ジーンとなり感動する者例外なし。鳥肌がたちました。11月3日(土)の県大会へ東播優勝チームとして出場する！万歳～！

男子バレーボール部。10月20日(土)滝野中学校体育館。予選トーナメント、1回戦。対黒田庄中(多可代表)。危なげなく、2-0で快勝。2回戦、対小野中(小野代表)。ちょっと警戒して試合に臨んだためか、サーブミスがあるも、チームプレイで難なく勝利をあげる。予選2連勝で、ベスト4！ここからは、上位4校による決勝リーグ。決勝リーグ1試合目。同じ明石代表の二見中と対戦。組み易しと、油断があったわけではないのだろうけれど、立ち上がりリズムに乗れない悪い流れのまま、反撃に転ずるものの2-0で惜敗。明日の残り2試合にかけられない。10月21日(日)。決勝リーグ2戦目。対平岡中(加古川代表)。一夜明けて、選手の気持ちも切り替わり、気合いの入った試合運び。気力、気迫で我校が優り、競りながらも2-0で勝ちをおさめ、最終戦に望みをつなげたこと見事。さてさて、泣いても笑ってもの最終戦。対地元滝野中(加東代表)。相手は保護者をはじめとする大応援団。父親の応援が多く、黄色い声援に混じり野太い声でのメガホン応援。そんな中、死力を尽くして戦い1-1のフルセットへ。マッチポイントを取ったけれど、残念無念。まさかの逆転負け。3位になる。1点の重み。悔しいが、これも勝負。応援、ご声援に感謝します。